電子工学科 平成22年度

电丁工子的	т					T-//X	. 乙 乙 午 及				
科目名	特別講義 「コンピュータ実務入門」 Special Lectures			担当教員	吉田 和弘						
学 年	4, 5年	学 期	夏期・集中	履修条件	選択	単位数	1				
分 野	専門科目	授業形式		科目番号	10E45_30550	1	履修単位				
学習目標	実社会において、コンピュータ実務の基礎知識・基礎技能が求められている。この特別講義では、 基本的なアプリケーションとして Microsoft Word, Excel, PowerPoint の利用方法を習得する。また ビジネスの現場で求められる役割・経営者の考え方に触れ、社会人としての心構えを身に付ける。 1日1アプリケーションを目標に Microsoft Word, Excel, PowerPoint の基本的な操作方法・応用・現場での活用事例 を学ぶ。最終日には経営者を招き、社会人の心構えについて講義を行う。										
進め方											
		学習項目(時間数)			学習到達目標						
学習内容	1. Word (7) 1) 基本操作 2) IME の使い方 3) 文書の作成・印刷 4) 表組み 5) 書式とスタイル 6) ヘッダーとフッター 7) 画像の利用 8) テンプレート 9) 校正機能 2. Excel (8) 1) 基本操作 2) データの入力・編集 3) 関数 4) 罫線・書式 5) セル参照 6) シートの連携 7) 印刷 8) グラフの作成 9) 並べ替え・フィルタ			Excel の基 ウェアを	いた文書作成を行えるようにする。 C3:1  Excel の基本的な機能と使い方を理解し、表計算ソフトウェアを活用できるようにする。 C2:2  PowerPoint の基本的な機能と使い方を理解し、題						
	3. PowerPoint (8) 1) 基本操作 2) スライドの作 3) 画像の利用 4) Word, Excel と 5) アニメーショ 4. 社会人の心構 1) 社会人として 2) 「考えること 3) I T ビジネス	材を効果 講義を通 ての資質	PowerPoint の基本的な機能と使い方を理解し、超 材を効果的に表現できるようにする。 C3:2 講義を通じて「考えること」の大切さや、社会人とし ての資質を理解し、その上で、ITビジネスの創出シ ミュレーションを体験してもらう。 A1:1								
評価方法	複数の課題を提出させ、この結果を 70%、平常点(出席率、授業態度)を 30%の比率で総合評価する。										
履修要件	特になし										
関連科目	数学										
教 材	プリント資料:必要に応じ配布する。										
備 考	特になし										

全学科 平成22年度

全学科				平成22年度						
	特別講義	(実践的工学	倫理)		<b>本井元二郎</b>					
科目名	Special Lectures			担当教員	今井正三郎					
<del> </del>	4, 5年		夏季・集中	履修条件	選択	単位数	1			
分 野	専門		講義	科目番号	10A45-305500	単位区別				
73 21	総論:工学倫理		H13.32							
学習目標										
	各論:技術者の知恵と戦いながら、安全とリスク、環境と資源に対する技術者としての責任を学 締め、東側を基に意見、ディスカッシュンを行い、各自の考え方を纏め、発表できるとうにする									
	纏め:事例を基に意見、ディスカッションを行い、各自の考え方を纏め、発表できるようにする。									
							所を実践した経験を ************************************			
進め方	取り上げ、事例に	対する意見、	ディスカッショ	ンを行って、	技術者の責任を議	論しながら記	<b>講義を進める。</b>			
	学習項目 (時間数)				学習到達目標					
	1. 総論:工学倫理を考える(7)			工学倫理	理とは何か、授業	(の目的を理	解すること。			
	①工学倫理とは			技術者	として進んでいく	ために、自	分の考え方を説明			
	②技術と技術者倫	理		できる	こと。					
	③専門職と組織人	の倫理		個人の、	個人の、社会人としての、企業人としての倫理を考え、					
	④倫理問題への対	応		理解して	て、技術者として	の倫理観を	身につける。			
	o 6 30 11.71=4	- /	2 2 37 50 7 4	a ) [1.4] = 4r	2 - 40 00 11-00		<i>I</i>			
	2. 各論:技術者		いから字ふ(1				任およびリスクを			
	①安全と工学倫理		把握し、環境・資源問題に対するかかわりを理解して、							
	②リスクの評価と			社会貢	献を目指す。					
	= ' ' '	③環境・資源問題と工学倫理								
	④技術者と法規									
	⑤知的財産権と工									
	⑥製造物責任と技	術者								
学習内容			> > > > \ ( \ \ \ \ )	<b>東原は</b>	レッドロ 造品) テ 打 マ	<b>ブルフル</b>	1997年			
	3. 実践的技術者		り子か(7)				理問題を共に議論			
	①事例研究とグル	一ノ討哉					说明を行うために、 た説明でキストを			
				目分のにする。		ての考え方	を説明できるよう			
				(C 9 0 c						
	mth 3/2 1 1 1	0								
評価方法	講義内容における	レポートを提	出させ、このレ	ポート内容に	ついて評価する。					
│ │ 履修要件	特になし	特になし								
		付けてない								
関連科目	性フィン									
	特になし									
	   教科書「技術者による宝践的工学倫理第2版」(ル学局人祭行)を中心に Dower Dointにて講美 その答:									
教 材	教科書「技術者による実践的工学倫理第2版」(化学同人発行)を中心に、Power Pointにて講義、その資料布									
	l III									
/# <del>+</del> /	#土1ァ よ、1									
備 考	特になし									
	•									